「国際金融論1」試験解答用紙

(担当者名:蓮見 亮)

2019年7月25日(水)13時00分~14時00分施行 学部 学科 年 学籍番号 ・試験時間60分、解答用紙全2ページ • 問題用紙別 氏 名 ・電卓のみ持ち込み可(関数電卓可、スマートフォン等不可) 教室 列 座席番号(着席した席) 問1. 問 1 自国通貨と他国通貨の外国為替市場における交換比率をいう。 I Π 問 2 (1)購買力平価説 同一時点における同一の財の価格は、各国で同一になるはずであるとの仮説をいう。 (2)問3 通貨1単位で購入できる財・サービスの量のこと。 (3)(4)69.9 1 円/ドル

(5) 各国の生産には非貿易財やサービスも多く含まれ、またたとえ貿易財であっても 自国で生産された財と他国で生産された財とが完全代替とは限らないため。

円/ユーロ

2

96.3

(裏面に続く)

採点欄

問2. I

(単位:万ドル)

| 経常収支 | -20 |
|-----------|------------|
| 貿易・サービス収支 | 1 0 |
| 貿易収支 | O |
| 輸出 | 2 5 0 |
| 輸入 | 2 5 0 |
| サービス収支 | 1 0 |
| 第一次所得収支 | - 1 O |
| 第二次所得収支 | -20 |
| 資本移転等収支 | - 5 |
| 金融収支 | -40 |
| 誤差脱漏 | - 1 5 |

II

(1) 一定期間において、一国内で生産される全ての最終的な財・サービスの市場価値。

(2) 経済の財・サービスの生産を評価するのに名目 GDP はその期の価格を用いるのに 対し、実質 GDP は特定の基準年の価格を用いる。

(3) 490 カドル

問3.

| (1) | 3 | (2) | 2 | (3) | 3 | (4) | 3 |
|-----|---|------|---|------|---|------|---|
| (5) | 4 | (6) | 3 | (7) | 3 | (8) | 1 |
| (9) | 1 | (10) | 3 | (11) | 3 | (12) | 3 |

(13)